



社会福祉法人 こうほうえん
新砂ライフ
【102号】

2024年
11月

「新砂ライフ」 社会福祉法人 こうほうえん 通信 第102号 2024年 11月
発行=新砂こうほうえん 〒136-0075 東京都江東区新砂3-3-11 (代表TEL 03-5677-1331)
1階・2階 保育園 (TEL 03-5677-1332) 病後児保育室おひさま (TEL 03-5677-1725)
3階 多機能ホーム新砂 (TEL 03-5677-1333)
3階 シルバーステイ (TEL 03-5677-1337) 4階 グループホーム新砂 (TEL 03-5677-1336)



11月14日(木) たのしかったね! 秋の親子遠足

3・4・5歳児クラス合同で『葛西臨海水族園』に行ってきました。当日はおうちの方やお友だちと一緒にクイズラリーをしながら、園内を見て回りました。ドーナツ型の大水槽で群泳するクロマグロ・世界の海の生き物・海鳥の生態など、たくさんの生き物を観察した後は広場に移動してお弁当を食べました。みんなで過ごした半日は素敵な思い出になったことと思います。無事に親子遠足を行うことができましたことに改めてお礼を申し上げます。



お弁当タイム♪



クローバーだより



～ 子育て支援 「ほかほかひろば」からご案内 ～



ほかほかひろばをご紹介します

10月17日 親子で保育体験(0歳児クラス)



園庭で遊んだ後は絵本を見たり、手遊びをして過ごしました。離乳食も「パクパク」「ゴクン」とご機嫌で食べていました。



10月31日 ハロウィングッズを作って遊ぼう



ハロウィンガーランドとネコさんバックを作りました。



11・12月の予定



11月28日 親子で楽しむ手形・足形アート

子どもの手形や足形で素敵なアート作品を作りませんか? 制作が苦手な方でも簡単に作ることができます。

12月24日 クリスマス会

新砂保育園にサンタさんはやってくるのでしょうか? 園行事のクリスマス会に是非遊びに来てください。

26日 おもちつき会

園児と一緒におもちつきをしませんか? 園行事のおもちつき会に是非遊びに来てください。

活動時間は10:00～11:00になります。



(要予約) 新砂保育園 03-5677-1332
TEL受付時間 月～金 9:00～17:00

グループホーム新砂 より

秋も深まり、朝夕の冷え込みが厳しくなって参りましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。
10月は介護合同「こうほうえん秋祭り」を大勢の方々の協力のもと開催し、地域の皆様も参加され大変盛り上がりました。その様子を紹介します！

～利用者様と一緒に会場準備～

職員と利用者様の力を合わせて一緒に会場作りを行いました。
手作りの折り紙や貼り絵が会場を彩りました♪



～秋祭り当日～

4階の会場ではゲストをお招きし、フルート演奏やこどもたちによる和太鼓演奏を披露して頂きました。
秋らしい澄んだ音色の演奏、元気いっぱいの演奏、ソーラン節は思わず掛け声をかけながら聞いていました♪
太鼓の演奏は迫力満点で、お祭りの最後を飾ってくれました！



お食事のメニュー

焼きそば・フランクフルト
から揚げ・豚汁
4階は食事会場として
皆様に足を運んでもらい
食べていただきました！



ご来場ありがとうございました

多機能ホーム新砂より

今年も残すところ2か月余りとなりました。

皆様、いかがお過ごしですか。10月は介護三事業所合同で「こうほうえん秋祭り」を開催しました！

その様子を一部ではありますが、紹介します。

3階は「ゲームコーナー」を担当！！

スーパーボールすくい、射的、輪投げ、魚釣りをを行い、スイーツでチョコバナナを提供しました。

皆さんとても楽しそうで笑顔が弾けていました。

当日は学生ボランティアや長寿サポートセンター職員の活躍もあり、大成功で幕を閉じました。

祭りを通じて「多機能ホーム新砂」を知っていただける機会にもなりました😊



★皆さま ご来場ありがとうございました！

シルバーステイ新砂より

●「見る」ということ

ある絵の先生とお話した際に、絵を描くときは、まず、モデルを「見る」ことに集中する、とのことでした。その方の迫力すら感じる絵に「なるほど！」と感心させられる一方、これは介護の世界でも共通だと気付きました。

●介護における「見る」とは？

認知症のある方にとって、コミュニケーションは難しいことです。まず、会話を一時的に覚えておく短期記憶の衰えが認知症の特徴だからこそ、会話の際に相手が理解できているのか、表情を伺う、つまり、「見る」ことが理解につながりますし、目（表情）で感情を伝えることもできます。

●認知症のある方とのコミュニケーションについて

「声のトーンを低くしつつ明瞭に話す」⇒高齢者は高い音が聞き取りづらいつわられています。

「視線を合わせて話す」⇒視野も狭くなっていることがあります。

「聞き上手になる」⇒聞いてくれる人を信頼します。

「表情やしぐさにも気を付ける」⇒言葉ではなく、表情や動作からも情報は伝わります。

「相手の価値観に共感する」⇒相手の言っていることを受け入れ理解することで、相手の心は和らぎます。

●レスパイトとは？

そうは言っても、コミュニケーションをとる余裕のない方にとって必要なのは、距離を置くこと。「介護する側が一時的に介護を離れて、リフレッシュすること」をレスパイトといいます。介護する方の中には休むことに対して、後ろめたさを覚える方もいます。介護保険の成り立ち自体が「介護が必要な高齢者とその家族を社会全体で支え合うことを目的に2000年に制度化」されています。介護は一人でするものではなく、社会全体で見えていくものとして、シルバーステイはレスパイト利用にも対応しています。

